

京都大学－FAO国際セミナー

講演者: 武内真佐美 (Food Safety Officer / FAO)

講演題: “Taking food safety to the corners of the world: your understanding contributes to the international efforts”.

「食の安全を世界へ！ -理解から始める国際貢献-」

日時: 10月11日(火) 18:15～19:45

場所: 京都大学東一条館地下一階 思修館ホール

京都大学と国連食糧農業機関(FAO)は、2016年6月7日付けで包括的協定を締結した。本協定は、食料の気候変動に関する影響評価、食品安全や収量予測に関する研究協力、人材交流などを掲げている。協定締結後初めて開催される本京都大学－FAO国際セミナーでは、Food Safety Officerとしてローマ本部で働く武内真佐美氏がFAOの責務とその仕事内容、食糧安全保障における食品安全の重要性について語る。また、FAO含め国際機関で働く魅力を話すとともに、国連職員となるために必要とされるスキル、学生から参加することの出来るプログラムを紹介する。さらに、フォーカルポイントの山敷教授および阪井教授に京都大学とFAOの交流の経緯を、昨年1年間インターンシップを行った農学研究科博士課程・思修館プログラム履修生の白石晃将氏よりその経験を紹介する。

主催: 総合生存学館(代表:山敷庸亮 教授)・農学研究科(代表:阪井康能 教授)

言語: 日本語 (English can also be used for discussions)

事前登録: 不要(どなたでもご参加いただけます)

問い合わせ: 白石晃将(農学研究科博士過程 / 思修館プログラム履修生)

メール shiraishi.kosuke.57x@st.kyoto-u.ac.jp

関連HP https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/20161011_fao